

(様式3) 【学校用】

ふるさと教育 取組事例

学校名	海士町立海士中学校		
学 年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	総合的な学習 の時間	「15年後、自分は幸せですか？」 ～学校経営方針を自分たちの言葉 で語ろう～	海士町に居住するUIターン者
ねらい		地域の人との対話を通して、幸せのあり方を探究しながら、主体性・ 行動力・挑戦する力を育む。	
<p>1 取組の概要</p> <p>本校の学校経営方針に記載されている「15年後、生徒は幸せですか？」という問いに注目し、探究活動を行った。自分自身にとっての幸せとは何なのか、「15年後の幸せ」とスローガンである「Chance・Challenge・Change」という「3つのC」がどのように関わっているのかを、自分たちの言葉で語ることを目指し、半年間活動した。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>海士町に住む方々へインタビュー活動を行った。他地域から海士町の魅力に惹かれ移住してきた方や、海士町に貢献するために新たなキャリアを拓いた方など、様々な「挑戦」をしている方を対象とすることで、海士町への愛着や貢献意欲が高まるようにした。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>インタビューを通して様々な人生経験を知り、幸せについて多面的・多角的な視点を提供してもらうことを目指した。新たに得た視点から改めて「課題設定」を行い、文献調査やインタビュー活動を通して「課題解決」を繰り返すなど、探究のサイクルを繰り返した。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>地域に住む人々が抱える様々な思いに触れ、自分だけでなく周囲の人の幸せを同時に考えるようになった。どうしたらより多くの人々が幸せを感じることができるのか考えるなど、身近な人や地域に対する貢献意欲が高まった。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>自らが立てた課題を解決するためにはどのような情報が必要で、どのような取組をするべきかを考え、行動することができた。より多くの情報を得るために積極的に地域へ出かけてインタビューを行ったり、必要な文献を探しに行ったりするなど、主体性や行動力が身についた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>「幸せ」という抽象的な概念をテーマとしていたことや、課題設定を個人が行っていたことが影響し、生徒によっては難しさを感じていた。最終的な結論付けやまとめに向かうためには、個別の支援を厚くする必要がある。生徒の実態に即したテーマ設定が求められる。</p>			

※取組の様子がわかるような画像を数枚貼り付け、ファイルのデータサイズが500kb以下となるようにしてください。
 ※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。